

令和元年度 協働の地域づくり懇談会 アンケート 集計（全体）（回収率72.6%）

（単位：人）

問1 あなたの年代をお答えください。

① 10代	② 20代	③ 30代	④ 40代	⑤ 50代	⑥ 60代	⑦ 70代	⑧ 80以上	無回答	計
1	2	4	11	19	44	53	4	0	138
0.7%	1.4%	2.9%	8.0%	13.8%	31.9%	38.4%	2.9%	0.0%	100%

問2 この懇談会に出席された理由は何ですか。（複数回答可）

市長や行政に意見を言える良い機会	62	31.8%
西都市の現状を聴く良い機会	90	46.2%
区長や公民館長の要請	26	13.3%
その他	17	8.7%
計	195	100%

問3 意見交換についておたずねします。

●時間の長さはどうでしたか。

長かった	9	7.0%
ちょうどよい	109	84.5%
短かった	6	4.7%
わからない	5	3.9%
計	129	100%

●内容はどうでしたか。

大変良かった	13	9.7%
良かった	83	61.9%
ふつう	27	20.1%
悪かった	6	4.5%
わからない	5	3.7%
計	134	100%

問2

（その他）

- ・公民館長だから
- ・会長の要請があったから
- ・地方行政に興味があったから
- ・民生委員として
- ・地域づくり協議会の担当なので案内が来たから
- ・役職もあったから
- ・支所員からの要請
- ・集落長でもあるから
- ・情報収集
- ・地域づくり役員
- ・地区長だから
- ・西都市民です。
- ・地域サポーターであるから
- ・三納地域サポーターとして
- ・役割だから
- ・穂北づくりから要請があったから。
- ・穂北づくり協議会員
- ・地域づくり役員
- ・地域づくり協議会の構成員である。

問4 この懇談会に今まで何回出席されましたか。

はじめての参加	37	28.2%
毎回出席	61	46.6%
その他	33	25.2%
計	131	100%

問5 協働の地域づくりを進めるため行政に必要なことは何だと思えますか。

市民の声が行政に届くようなシステムづくり	81	38.9%
市民や地域づくり協議会、市民活動団体等に役立つ情報の提供	55	26.4%
人材（財）育成や意識啓発のための講座等の開催	28	13.5%
市民活動に対する補助金や助成金の制度づくり	34	16.3%
その他	10	4.8%
計	208	100.0%

問3

(内容)

- ・住民の本来の質問したい内容とかけ離れている
- ・議題がしぼられ、それについてつっこんだ意見、提言があった。
- ①地域計画については、当初段階での地域の役割、行政の役割等の理解が進んだ。
- ②ガイダンスセンターについては、当初計画の実現の困難さや新しい場所(アグリ)での建設のメリット、デメリットが理解できた。
- ③その中で、少しでも早く、施設が建設されることは望ましく、その際の条件整備(当初計画推進者の意見調整等)が極めて重要と理解した。
- ・意見が多く出た。
- ・いろいろな意見が出ました。
- ・いろいろな思いが聞かれ、考えさせられることが多く、内容が濃く良かった。
- ・発言する人の論点ずれすぎ
- ・地域住民の方々の思いを聞くことができた。
- ・議題が定まっておらず、皆が自分の言いたい事を言っているだけで市、協議会それぞれの考え、要望等をまとめた紙面が必要。市と協議会の考えが一致していないのに参加者に意見を求められても混乱するだけ。
- ・市の意向は聞けた。通り一辺倒の感はしたけど
- ・地区住民の意見を聞いてほしい
- ・市長が全体の説明後～担当へ
- ・三納地区住民の不安な点が詳細に把握できたので
- ・少し要望が多くあるような気がする
- ・十人十色さまざまな意見が聞けて良かった。
- ・各協議内容について、行政側自らが改革を行うという姿勢が感じられない。
- ・①テーマ毎の説明を各地区からの方こられているので具体的な事が言えるように、あると良いと考えました。
- ②災害に対しての避難ヶ所のあり方も質問がほしかった。
- ③問題が一番難しい提案で、もう少し具体的に話がなされると考えました。
- ・テーマが決まっていたので意見交換スムーズにできたと 思います。
- ・良かったが、地域が特定できることでもう少し具体的な対策が聞きたかった。
- ・双方向からの意見がでて理解が深まった。
- ・提案に対しての回答も情報として感じとれた。特に人口増対策について、もっともっと移住相談についての内容を深めて魅力を集めていただけたらと。
- ・事務局から市に質問した内容が、口頭で説明されただけで何を質問したのかよくわからなかった。何のために開いた会なのか意図がわからない。
- ・テーマが決まっており、自由な発言ができない。
- ・テーマを決めることで、答える側も準備ができるので良いと思う。
- ・スケジュール消化？

問5

(その他)

- ・市民の寄り添う行政になって欲しい。
- ・行政にとって質の良い情報、質の良い情報(けむたい情報)いずれも届かないと意味がない。
- ・考え方の柔軟で、積極的に動ける人材
- ・話し合に出会える
- ・発信力
- ・職員が進んで活動(仕事)できる環境づくり
- ・地域の問題はどこで取り上げれば話し合いできる。
- ・市職員の地域、スポーツ、ボランティア等の参加
- ・フリートークでいいのではと思います。
- ・自由に意見が言えるようテーマをしぼらない。
- ・フリートーキングが良いのでは
- ・無関心層が当たり前の中で何をやっても成果があがらないのが現実

【その他ご意見がありましたらお書き下さい】

- 地域ごとの懇談会にすると前もってテーマを決めて質問を行い、事前に解答を準備するような形になっており、市民の本来の思いではないと思う。市の職員は大変かもしれないけど、各公民館単位または、区別でも行ったらどうか検討して欲しい。
- ①地域懇談会ではあるが、西都市全体の大きな課題についての質問が1～2問あって、市長が回答する懇談会が望ましい。
- ②地域課題にこだわるなら、テーマをしぼる際に市長、教育長が答弁する内容になるよう、担当課と慎重に詰めておくべきである。
- ③いずれにせよ、市長、教育長答弁を行った上で、細かい質問については担当課長にふる形が望ましい。⇒テーマが小さいと、参加者も少なくなるのではないか。
- 参加者の方は都於郡に対する思いが伝わり、良い会合だったと思います。
- 今後話し合いが必要だと思います。
- ガイダンスを作るのはいい事ですが、どうやって人を集めるか？都於郡城跡でもどこに有るのかわからない。池の端まで市外の方が来ていて都於郡跡はどこに有るのですか？と聞かれた。何の看板もないし、わからない。誰が来てわかる様な看板も作らないとダメ、また人が多く集まらなないとダメ、それには幼い子供をふくめた人が集まる事を考えないと宝の持ち腐れになってしまう。
- 十分審議した解答を用意すべきである。結論こそ大切である。
- 初めて参加したので知らないことばかりでした。色々大変だとは思いますが頑張ってください。
- 事前に、テーマについて知らせておくと思いが出やすい。公民館での集まりのテーマとして結論を重ねることが大事ですね。
- ガイダンスセンター建設について、経過（内容）を都於郡地区民へ説明機会を多くして、了解を早く得るべきではないか！？
- 人口減については、仕方ない
- 体育館の屋根が傷んで雨もりが数カ所してます。なおしてもらいたい。
- 海外の方が意外と多いと感じました。以前は、県北にいたのですが、穂北と同じ程度のまちでしたが、3～4名程度しかおりませんでした。こちらにはもう少し多いと感じます。こういった方々のお話を聞けば何かプラスになるのではないのでしょうか。海外の方についてプラス面、マイナス面あるかと思いますが、こういった方との接触はきちんと考えていって欲しいです。
- 西都市の水資源を活かした小水力発電所を建設（市の税収増）
大河の誘致活動、フィルムコミッションの開設
アニメ等、SNS、ブロガー、インフルエンサーを使ったアピール
Wi-Fiの整備
- 人口増…市の職員が市外ではなく西都市内に住めば…。
- 河川（一ツ瀬川）の浄化。杉安峡におけるカヌー教室。杉安峡の復活。
- もう少し発言があると考えました。自分も話をしませんでした。本日ここにきてテーマを聞いた次第でした。
- 市の職員も地域づくりも男性ばかり。もっと女性が出席できる場が増ええると良いのでは。（市の職員について）1人女性の方がいらっしゃいましたが、もっと女性の起用はできないのかな。

- 教育の問題

意見①学校全体は小学校はそのまま置く。中学校の統合については、市内に2校にする意見はなかったのか。中学校でも市内での競争も大切と思う。（南小、三財、都於郡、三納で一校）

（妻北、穂北小、茶小で一校）

②各学校の官舎は早く取り除くこと。

- 最後の市長の話が良かった。私は数年前にも、素晴らしい西都原のPR下手である事を前市長に話した事があります。市民全員で何とか、良いPRを考えなくてはと思う。
- 議題決定には事前に公募し、決まったら事前に勉強の場をつくると議論が深まるのではないかと思います。
- 今回の懇談会は非常に充実していたと感じております。意見も建設的で行政側の回答も詳しく聞き取る事ができました。回答されたように推進されることを期待します。お疲れ様でした。ありがとうございました。私の後に残された人も少なくなってきましたが、西都市民でよかったと思える努力、協力をこれからもしていきたいと感じた時間でした。
- この会の意味が不明。内容が悪過ぎる。参加しなければ良かった。
- 市役所それぞれの課で工夫してやっておられると思いますが、PR不足の点が多く見受けられます。
- 市の広報をしっかりと読んで「地域づくり」の意味を考えていきたいと思えます。西都原、そして農業に誇りをもって遊んでいきましょう。
- 観光のテーマで昨年からとあるため、経過の分かる資料をつけて欲しい。環境美化について、草刈りは県も市も2回の回答であったが、地域でそれを超える回数できるような基準を示してほしい。健康寿命の話があったものの寿命との差が小さい。新聞で出る差は6~7年の違いがあります。正しい数か確かめてほしいと思えます。環境美化に関連して、町中は「いもぐす」の植樹が多く見られますが、通りによりいろいろな種類の植樹をし、色鮮やかな植樹にしてはどうかと思えます。
- 今回3つのテーマで回答をしていただきました。一つ一つ担当課が回答されましたが、毎回もう少し前向きな解答があったらなと思えます。これからは、テーマも今、一番大事な行政がかかえた問題があると思えます。例えば救急医療センターのことが、市民が一番知りたいことだと思います。地域づくりからも行政に対してアンケート、それに説明会を早めに行ってほしいと思えます。
- 地域づくりだけでなく、行政からも地域づくりをPRしていただき、加入者が増えるようお願いしたい。
- 財政の厳しい時代に金のかかる新しい事をやるのはなかなか難しいと思う。やっている事の見直しや新しい視点からの考え方が大事だと思う。